

第162期
上半期

株主の皆様へ

平成26年4月1日～平成26年9月30日

証券コード 5406

KOBELCO

お知らせ

- 「株主様見学会参加者募集のご案内」を6ページに掲載しております。

株式会社 **神戸製鋼所**

素材系、機械系、電力の3つの事業を柱に 将来の成長に向けた取組みも 進めてまいります。

株主の皆様には、格別のご高配を賜わりありがたく厚く御礼申し上げます。

当社グループは、後述の「業績のご報告」でもご説明しておりますとおり、当上半期においては、おかげさまで、経常利益461億円を計上することができました。この業績を踏まえて、今期中間配当につきましては、1株あたり2円とさせていただきます。株主の皆様にはご理解を賜わりたいと存じます。

さて、現在、当社グループは、2013年～2015年を「経営基盤の再構築」と「収益の『安定』と事業の『成長』に向けた布石」を打つ期間と位置付け、素材系、機械系、電力の3つの事業を柱とした当社独自の複合経営の強化に取り組んでおり、計画は着実に進捗しております。

代表取締役社長

川崎博也



素材系事業では、自動車分野でのグローバルな需要を捕捉するべく、自動車サスペンション用アルミ鍛造部品の日米中3拠点生産体制を増強するとともに、自動車用アルミパネル材、高張力鋼板でも海外での生産拠点の整備に着手しております。

また、今後ますます需要が高まると予測される自動車の軽量化に対応すべく、鉄鋼、溶接、アルミ・銅など幅広く素材を扱う当社グループの強みを活かして、鉄とアルミを組み合わせることで強度と軽量化を両立させたバンパーといった複合材料の開発など、将来に向けた取組みも進めております。

機械系事業では、欧米市場に再参入したコベルコ建機がシェアを順調に回復させているほか、非汎用圧縮機の販売・サービスの拠点をブラジルに設置するなど、世界の

主要マーケットをカバーする体制の確立に取り組んでおります。

また、当社の強みとする圧縮機の技術を活かして、燃料電池車の普及に伴い必要とされる水素ステーション向け圧縮機とその関連技術や、これまで活用されてこなかった低温の熱源を利用して発電するバイナリー発電装置などのさらなる開発と拡販を進めております。

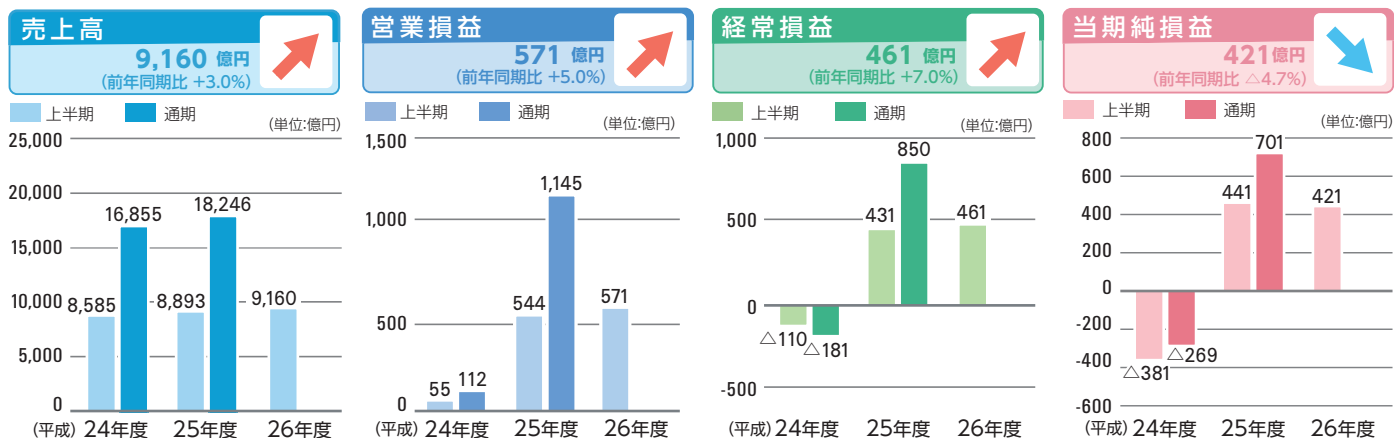
安定収益基盤と位置付ける電力供給事業においても、栃木県真岡市のガス火力発電所計画や、神戸製鉄所高炉跡地での石炭火力発電所計画を進めております。

プは、上記のような取組みを通じて、安定した収益基盤の構築と将来への成長に向けて全力で取り組むとともに、安全・安定操業・コンプライアンスを徹底し、企業価値の向上に努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

外部環境はめまぐるしく変化しておりますが、当社グループ

平成26年11月

業績ハイライト(連結) (表示金額は、単位未満の数字を切り捨てております。)



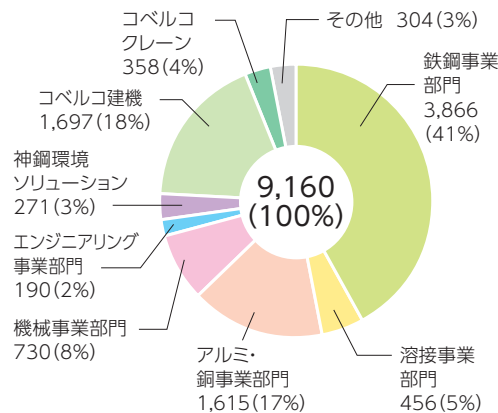
■当上半期の概況

当上半期のわが国経済は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動影響がみられたものの、政府の各種経済対策などを背景に、企業収益の改善や設備投資の増加、公共投資が引き続き高水準で推移するなど、景気は総じて回復基調が継続しました。海外では、米国においては緩やかながら景気回復基調が継続しましたが、欧州においては引き続き景気は低調に推移し、中国および東南アジアにおいても、景気の減速基調が継続しました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、鋼材の販売数量は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動により、自動車向けの需要が減少したことや、当社加古川製鉄所における生産トラブルの影響などから、前年同期を下回りました。アルミ圧延品の販売数量は、国内の飲料用缶材の需要が増加したほか、輸出の拡販に取り組んだことなどから、前年同期を上回りました。銅圧延品の販売数量は、銅板条においては自動車用端子や半導体、銅管においてはエアコン向けの需要が堅調に推移したことなどから、前年同期を上回りました。油圧シヨベルの販売台数は、拡販が順調に進捗している欧米などにおいては増加したものの、国内および東南アジアにおいては減少したことから、前年同期を下回りました。

この結果、当上半期の売上高は、前年同期に比べ266億円増収の9,160億円となり、営業利益は、前年同期に比べ27億円増益の571億円、経常利益は、前年同期に比べ30億円増益の461億円となりました。一方、四半期純利益は、前年同期に投資有価証券の売却益などを計上していたこともあり、前年同期に比べ20億円減益の421億円となりました。

事業別売上高(平成26年度上半期) (単位:億円)



(注)上記円グラフの各事業の売上高の合計から、各事業間の内部売上高等の消去額331億円を差し引いた金額が、連結売上高の合計額9,160億円となります。なお、各事業別の比率は、各事業の売上高の合計をもとに算出しております。



鉄鋼事業部門

3,866 億円

(前年同期比 △0.9%)



- 鋼材販売数量：消費増税に伴う駆け込み需要の反動による自動車向け需要の減少などから、前年同期比減
- 鋼材販売価格：前年同期比上昇
- 鑄鍛鋼品売上高：造船向け需要回復基調で前年同期比増
- チタン製品売上高：前年同期比若干減
- 経常利益：在庫評価影響の収益押し上げ効果剥落により前年同期比51億円減益の104億円



加古川製鉄所 転炉工場



溶接事業部門

456 億円

(前年同期比 +8.8%)



- 溶接材料販売数量：国内の造船向け需要回復基調、建築向け需要も堅調に推移し、前年同期比増
- 溶接システム売上高：国内建築向け需要が堅調に推移し、前年同期比増
- 経常利益：前年同期比18億円増益の46億円



ソリッドワイヤ



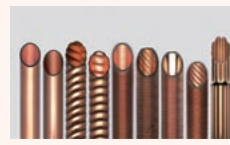
アルミ・銅事業部門

1,615 億円

(前年同期比 +9.0%)



- アルミ圧延品販売数量：国内飲料用缶材の需要増、飲料用缶材、自動車向け輸出拡販効果により、前年同期比増
- アルミ鑄造品売上高：海外の自動車向け需要が堅調に推移し、前年同期比増
- 銅圧延品販売数量：自動車、半導体およびエアコン向けの各需要が堅調で、前年同期比増
- 経常利益：エネルギーコスト増、在庫評価影響悪化で前年同期比19億円減益の60億円



熱交換器用異形伝熱管



機械事業部門

730 億円
(前年同期比 +2.3%)



- 受注高：海外を中心に石油精製・石油化学業界向け圧縮機の需要堅調により、前年同期並の737億円
- 当期末受注残高：1,421億円
- 経常利益：タイヤ・ゴム機械大型案件売上計上集中で前年同期比11億円増益の32億円



オープンラック式LNG気化器「ORV」



エンジニアリング事業部門

190 億円
(前年同期比 △8.6%)



- 受注高：震災復興に関連した廃棄物処理業務および維持管理業務を中心に受注を積み上げたものの、大型還元鉄プラントを受注した前年同期比では27.6%減の145億円
- 当期末受注残高：807億円
- 経常損失：前年同期比3億円悪化の5億円の損失



フレア護岸



神鋼環境ソリューション

271 億円
(前年同期比 △12.1%)



- 受注高：廃棄物処理関連事業での受注量が増加し、前年同期比22.8%増の452億円
- 当期末受注残高：653億円
- 経常利益：前年同期比6億円減益の3億円



芳賀地区エコステーション

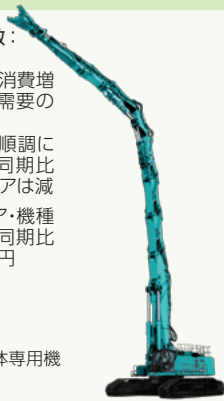


コベルコ建機

1,697 億円
(前年同期比 +4.1%)



- 油圧ショベル販売台数：前年同期比減
〔国内〕排ガス規制、消費増税に伴う駆け込み需要の反動影響により減
〔海外〕欧米の拡販順調に進展、中国も前年同期比では増も、東南アジアは減
- 経常利益：販売エリア・機種構成変化もあり前年同期比59億円増益の161億円



200トン級超大型建物解体専用機「SK2200D」



コベルコクレーン

358 億円
(前年同期比 +40.8%)



- 販売台数：前年同期比増
〔国内〕公共投資増など需要高水準に推移し増
〔海外〕アジア向け需要堅調により増
- 経常利益：前年同期比14億円増益の31億円



ラチスブームホイールクレーン「MK650」

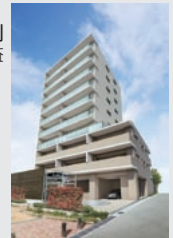


その他

304 億円
(前年同期比 △5.2%)



- 神鋼不動産：〔分譲事業〕引渡戸数減少〔賃貸事業〕堅調に推移
- コベルコ科研：〔試験研究事業〕自動車関連中心に堅調に需要推移
- その他の事業全体の経常利益：前年同期比5億円減益の19億円



ジークレフ御影パークグレイス

(注) 枠内の数字は売上高を記載しています。

● 鉄鋼事業部門 ○ アルミ・銅事業部門 ● 機械事業部門 ● 本社

機械事業部門

「船用バイナリー発電システム」の開発に着手
エネルギーの有効活用とCO₂排出量の削減のため、
船舶エンジンの排熱を利用したバイナリー発電シ
ステムを開発

鉄鋼事業部門

加古川製鉄所 新溶銑処理設備の稼働を開始

当社は、競争力強化の施策の一つとして、鋼材事業のオンリーワン製品の更なる拡販に向けた生産体制の整備を進めていますが、特殊鋼線材・糸鋼、自動車用ハイテン、エネルギー向け厚板といったオンリーワン製品を造るためには、溶銑中の硫黄やリンといった不純物を取り除く処理が必要です。この度、新たな溶銑処理設備を稼働させることにより、溶銑の処理に必要な副原料の使用量削減や鉄歩留の改善を実現するほか、既存設備とあわせると生産している溶銑の全量を処理できるようになり、オンリーワン製品の生産量を増やすことが可能となります。今後も、製鉄所の競争力を強化し、市場での存在感と収益力の向上を図ってまいります。



新溶銑処理設備

本社

神戸製鉄所での石炭火力発電所の増
設に向けて準備を開始
関西電力株式会社の2014年実施予定の火
力電源入札募集に応札することを決定

鉄鋼事業部門

メキシコに自動車部品向け線材二次加
工拠点を設立
自動車用ファスナーや冷間鍛造部品等の素材
となる冷間圧造用鋼線の現地生産・供給体制
構築

鉄鋼事業部門

船舶ディーゼルエンジン用クランク軸の
新たな製造法が、日本海事協会の設計疲
労強度向上認証を世界で初めて取得
強度向上によるクランク軸の軽量化により燃
費軽減を実現

2014

(平成26年)

4月

5月

6月

7月

8月

9月

機械事業部門

ブラジルにおける新会社の営業を開始

近年、ブラジルでは、海洋資源開発や、石油精製・石油化学プラントの建設がめざましく、プラント内で使用される非汎用圧縮機の需要が増加しています。当社の圧縮機もブラジルをはじめとした南米に多数の納入実績があり、アフターサービスの面からも現地対応の必要性が高まっていました。そのため、非汎用圧縮機を中心に営業活動およびアフターサービスを担う新会社をブラジルに設立し、営業を開始しました。新会社は、当社グループ初のブラジルでの拠点となります。非汎用圧縮機事業においては、すでに、中国・東南アジア・中東・北米・欧州に拠点を有しており、新会社で南米をカバーすることで、世界の主要なマーケットをカバーすることが可能となりました。今後も、各拠点の拡充に取り組み、圧縮機事業のグローバルな競争力の強化に取り組みとともに、この度設立した新会社を、南米における非汎用圧縮機以外の機械事業部門の製品の販売やサービスの拠点として活用していくことも検討してまいります。

アルミ・銅事業部門

米国アルミ鍛造拠点における生産能力増強工事が完了

米国では、自動車の生産台数の増加に加え、燃費規制の強化に対応する自動車の軽量化ニーズが加速していることから、アルミサスペンションの需要は急速に拡大しています。今後の更なるニーズの拡大に備えるため、自動車サスペンション用アルミ鍛造部品の米国拠点の生産能力を増強し、量産稼働を開始しました。この度の能力増強によって、アルミ鍛造部品の生産能力は、米国拠点では1.5倍の月産42万本に、グループ全体では日本と中国の拠点を合わせて月産100万本になりました。また、中国の拠点でも更なる能力増強を決定しており、日本も含めた3拠点で、世界の自動車サスペンション用アルミ鍛造部品市場で確固たる地位を築いてまいります。



増設されたプレス機

当社ホームページではこのほかにも、様々なトピックスをご紹介します。
<http://www.kobelco.co.jp>

当社は株主の皆様へ当社へのご理解を一層深めていただくために、引き続き株主様見学会を実施いたします。今回ご覧いただくのは、**神戸総合技術研究所**と**神戸製鉄所**でございます。つきましては下記の内容にて開催いたしますので、ご案内申し上げます。



開催場所：神戸総合技術研究所 (兵庫県神戸市西区高塚台1-5-5)
 神戸製鉄所 (兵庫県神戸市灘区灘浜東町2)

対象者：平成26年9月30日現在、当社株式1,000株以上をご所有の株主様

募集人数：神戸総合技術研究所 90名(各回45名)
 神戸製鉄所 200名(各回50名)

※募集人数には同伴者も含みます。

株主様見学会の概要

申込番号	開催場所	実施日時(平成27年)	集合時刻	解散予定時刻	集合・解散場所
①	神戸総合技術研究所	3月 5日	9:00	12:20頃	神戸市営地下鉄 西神中央駅※
②			13:00	16:20頃	

申込番号	開催場所	実施日時(平成27年)	集合時刻	解散予定時刻	集合・解散場所
③	神戸製鉄所	3月15日	9:00	12:40頃	JR六甲道駅※
④			13:10	16:50頃	
⑤		3月16日	9:00	12:40頃	
⑥			13:10	16:50頃	

※詳細は、ご招待状にてご連絡させていただきます。

以下の点につき、あらかじめご了承ください。

※株主様見学会コースは徒歩での移動となります。途中何ヶ所か階段がございます。

※ご応募が多数の場合、抽選とさせていただきます。

抽選の結果は2月上旬にご通知する予定です。

※同伴者様は1名まで(小学生以上)とさせていただきます。

※以下の場合、ご応募は無効とさせていただきます。

- 株主様ご本人のご応募・ご参加でない場合
- 同伴者様を2名以上ご記入の場合
- 申込番号を2つ以上選択されている場合、もしくは1つも選択されていない場合
- 株主様1名につき、2枚以上ご応募された場合
- 株主様お名前等、必要事項のご記入がない場合

応募方法：同封の参加申込はがきに必要な事項をご記入のうえ、ご返送ください。

(対象者の方にのみ、はがきを同封しております。)

【締切日:平成27年1月6日(火)到着有効】

参加費：無料

※ただし、集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます。

お問い合わせ先：株式会社神戸製鋼所 法務部 株主様見学会係

TEL 078-261-4067

受付時間 10:00~17:00(土・日、祝日、その他会社の休業日を除く)

〈これまでの開催実績(過去5回分)〉

	日時	開催場所	募集人数	ご応募総数
第10回	平成24年 10月	真岡製造所	240人	1,082通
第11回	平成25年 2・3月	神戸総合技術研究所・ 神戸製鉄所	285人	3,202通
第12回	平成25年 11月	高砂製作所	320人	2,039通
第13回	平成26年 3月	加古川製鉄所・ コベルコ建機広島事業所	450人	2,306通
第14回	平成26年 11月	真岡製造所	240人	1,447通

環境への取組みと社会との共生

神戸製鋼グループは、地球環境の保全が全ての生命体に共通する最も重要な課題であり、より健全な地球環境を次世代に引き継ぐことが私たちの使命であると認識し、環境経営基本方針を策定して、事業活動のあらゆる面で環境に配慮する環境経営の推進に努めています。

■環境経営基本方針

『グループ環境経営の実践によるさらなる企業価値向上』

—— グループの環境力向上 ——

神戸製鋼グループは、環境先進企業グループとして

1. 環境に配慮した生産活動
2. 製品・技術・サービスでの環境への貢献
3. 社会との共生・協調

を実践することにより、社会的責任を果たすと共に、環境力を高め企業価値を向上させる。

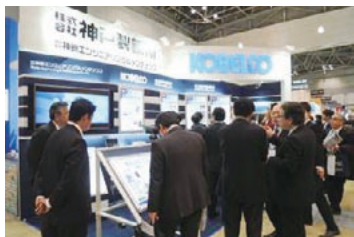
■「国際フロンティア産業メッセ2014」に出展

「『ひらめき』を『キラメキ』に! オンリーワン企業・機関が集結」をテーマとして、2014年9月4日・5日に、神戸国際展示場で開催された「国際フロンティア産業メッセ2014」に神戸製鋼グループも出展しました。

今回も多くの来場者の関心を引くとともに、多くの業界紙で取り上げられ、神戸製鋼グループの取組みを知っていただくことができました。

(主な出展製品等)

スラグ漁礁、フレア護岸、
移動電源車、
自動車軽量化技術、
エコキューオン、
水素ビジネス関連 等



展示ブースの様子

■「物流環境負荷軽減技術開発賞」を神戸物流株式会社を受賞

神戸物流株式会社は第15回物流環境大賞において「物流環境負荷軽減技術開発賞」を受賞しました。

この賞は、一般社団法人日本物流団体連合会が、環境施策の一層の推進を図ることを目的に物流部門において環境保全活動や環境啓蒙活動で優れた功績を残した団体、企業、個人を表彰する制度です。

神戸物流株式会社は加古川製鉄所の構内鉄道輸送(軌道総延長距離約6.2km)を行なっています。機関車エンジンは常に稼働し、停止せずに運用していることに着目し、業界で初めて機関車アイドルストップシステムを独自で開発し、実用化に成功しました。

本システムの導入により、燃料使用量を約25%減らすことが可能となり、年間約1,100トンのCO₂排出量削減を実現しました。

なお、授賞式は6月23日に東京都内で執り行なわれました。

神戸製鋼グループでは、今後も環境負荷低減に取り組んでいきます。



表彰式

■「第2回 KOBELCO 森の童話大賞」

当社は昨年度に続き、「第2回 KOBELCO 森の童話大賞」の募集を行ないました。この事業は、全国の小学生、中学生、高校生を対象とした「森」をテーマにした創作童話のコンテストです。最優秀作品については表彰を行なうとともに、絵本作家による挿絵制作および絵本化を行ない、学校や公立図書館等に寄贈して環境啓発ツールとして活用していただきます。

当社は従来から地域に根ざしたNPO活動を支援するとともに、森林整備活動（KOBELCOの森、ECOWAYの森、KOBELCO未来の森プロジェクト）、神戸市内の児童館への「出前エコ教室」など、従業員による実働・参画型の環境・社会貢献活動を展開してきました。

さらに、昨年度からはこれらの活動を深化させる形で、「KOBELCO GREEN PROJECT」を創設し、そのシンボル事業として「KOBELCO 森の童話大賞」をスタートさせました。

本年度は更に地元兵庫県内の多くの自治体等よりご後援をいただき、加えて、教育関係者への積極的なPRの結果、昨年度を上回る438件のご応募をいただきました。

当社はこれからも様々な活動を通じて地域社会への貢献を進めていきます。

審査結果発表:11月下旬予定

表彰式:2015年1月18日(日)

灘浜サイエンススクエア
にて開催予定



ラグビーを通じての活動

■ラグビーの普及活動

当社ラグビー部、神戸製鋼コベルコスティーラーズは、ラグビーの普及活動として、年間30以上のラグビー教室や各種イベントに参加しています。

ラグビー教室では、兵庫県を中心に小中学校やラグビースクールを訪問し、毎回、レベルに合った練習内容を選手たちが考え、子供たちにラグビーの楽しさを伝えるとともに、技術指導にもあたっています。また、幅広い年齢層の方にラグビーの魅力を広めるために、親子ラグビー教室に選手を派遣しています。

このほか、地域住民やファンの方々との交流を深めるとともに、ラグビーを知らない方にラグビーの良さを伝え、ラグビーに興味を持っていただくために、地域のお祭りやトークショーに選手が参加しています。

今後も、当社ラグビー部は、普及活動を通じて、多くの方にラグビーの魅力を伝えていきたいと考えています。



ラグビー教室の様子

■日本せきずい基金に関するお知らせ

神戸製鋼コベルコスティーラーズは、2014年8月18日に、昨シーズンの試合会場で実施した募金活動および2014年7月6日に実施した「コベルコラグビーフェスティバル2014」における収益金の合計232,921円を、特定非営利活動法人「日本せきずい基金」に寄附しました。この寄附は12年前から同基金に対し申し出を行なっているものです。

8月18日、東京都内で行なわれた贈呈式には橋本大輝キャプテンが出席し、目録を贈呈しました。

神戸製鋼コベルコスティーラーズはこれからも引き続き、募金活動を継続していきます。



贈呈式

事業分野

(平成26年9月30日現在)

鉄鋼事業部門

条鋼(普通線材、特殊線材、特殊鋼線材、普通鋼棒鋼、特殊鋼棒鋼)、鋼板(厚板、中板、薄板<熱延・冷延・表面処理>)、鋼片、鑄鍛鋼品(船用部品・電機部品・産業機械部品等)、チタンおよびチタン合金、鉄粉、鋳物用銑、製鋼用銑、スラグ製品、ステンレス鋼管、建材、各種特殊鋼製品、各種鋼線、電力卸供給

溶接事業部門

溶接材料(各種被覆アーク溶接棒、自動・半自動溶接用ワイヤ、フラックス)、溶接ロボット、溶接電源、各種溶接ロボットシステム、溶接関連試験・分析・コンサルティング業

アルミ・銅事業部門

アルミ圧延品(飲料缶用アルミ板、熱交換器用アルミ板、自動車用アルミ板、各種アルミ押出品、磁気ディスク用アルミ基板)、銅圧延品(半導体用伸銅板条、自動車端子用伸銅板条、リードフレーム、復水管、空調用銅管)、アルミニウム合金およびマグネシウム合金鋳鍛造品(航空機用部品、自動車用部品等)、アルミ加工品(自動車用部品、建材、建設用仮設資材等)

機械事業部門

エネルギー・化学関連機器、原子力関連機器、タイヤ・ゴム機械、樹脂機械、超高压装置、真空成膜装置、金属加工機械、各種圧縮機、冷凍機、ヒートポンプ、各種プラント(製鉄圧延、非鉄等)、各種内燃機関

エンジニアリング事業部門

製鉄プラント(還元鉄)、各種プラント(ペレタイジング、石油化学等)、原子力関連プラント、砂防・防災製品、土木工事、新交通システム

神鋼環境ソリューション

水処理プラント、廃棄物処理プラント、化学・食品関連機器

コベルコ建機

油圧ショベル、ミニショベル、ホイールローダー

コベルコクレーン

クローラクレーン、ラフテレーンクレーン、作業船

その他

不動産開発・建設・分譲・仲介・リフォーム、不動産賃貸・ビルマネジメント、マンション管理、特殊合金他新材料(ターゲット材等)、各種材料の分析・解析、高压ガス容器製造業、超電導製品、有料老人ホームの運営、総合商社

連結子会社および持分法適用会社 [212社]

※印は持分法適用会社であります。(平成26年9月30日現在)

鉄鋼事業部門：44 社

日本高周波鋼業株式会社、神鋼特殊鋼管株式会社、神鋼建材工業株式会社、神鋼神戸発電株式会社、神鋼物流株式会社、神鋼ボルト株式会社、堺鋼板工業株式会社、株式会社神鋼エンジニアリング & メンテナンス、株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ、*神鋼鋼線工業株式会社、*関西熱化学株式会社、*日本エアロフォージ株式会社、*株式会社テザックワイヤロープ、*プロテック コーティング CO.、*鞍鋼神鋼冷延高張力自動車鋼板有限公司、*エスアールティー オーストラリア Pty Ltd 他

溶接事業部門：22 社

エヌアイエル株式会社、青島神鋼溶接材料有限公司、コウベ ウェルディング オブ コリア CO.,LTD. 他

アルミ・銅事業部門：24 社

株式会社コベルコ マテリアル銅管、神鋼汽車鋁材(天津)有限公司、神鋼汽車鋁部材(蘇州)有限公司、コウベ アルミナム オートモーティブ プロダクツ LLC、コウベ プレシジョン テクノロジー SDN.BHD. 他

機械事業部門：21 社

コベルコ・コンプレッサ株式会社、神鋼造機株式会社、神鋼圧縮機製造(上海)有限公司、*無錫圧縮機股份有限公司 他

エンジニアリング事業部門：17 社

ミドレックス テクノロジーズ, INC. 他

神鋼環境ソリューション：11 社

株式会社神鋼環境ソリューション、神鋼環境メンテナンス株式会社 他

コベルコ建機：34 社

コベルコ建機株式会社、東日本コベルコ建機株式会社、西日本コベルコ建機株式会社、成都神鋼工程機械(集団)有限公司、成都神鋼建設機械有限公司、杭州神鋼建設機械有限公司、成都神鋼建機融資租賃有限公司、タイ コベルコ コンストラクション マシナリー LTD.、コベルコ インターナショナル シンガポール CO.,PTE.LTD.、コベルコ コンストラクション マシナリー (USA) INC.、コベルコ コンストラクション イクイップメント インディア PVT.LTD. 他

コベルコクレーン：11 社

コベルコクレーン株式会社 他

その他：28 社

神鋼不動産株式会社、株式会社コベルコ科科研、神鋼投資有限公司、コウベ スチール USA ホールディングス INC.、*神鋼商事株式会社 他

取締役および監査役、執行役員

※印は、各事業部門長であります。(平成26年9月30日現在)

取締役会長(代表取締役)
佐藤 廣士

取締役社長(代表取締役)
川崎 博也

■本社

専務取締役
梅原 尚人

常務執行役員
森地 高文

執行役員
北川 二郎

常務取締役
杉崎 康昭

執行役員
三宅 俊也

執行役員
山本 浩司

専務執行役員
沖田 誠治

執行役員
河原 一明

■鉄鋼事業部門

取締役副社長(代表取締役)
※尾上 善則

常務執行役員
後藤 隆

執行役員
松原 弘明

専務執行役員
宮下 幸正

常務執行役員
水口 誠

執行役員
岡 欣彦

専務執行役員
藤井 晃二

常務執行役員
柴田 耕一朗

常務執行役員
宮脇 新也

執行役員
対馬 靖

■溶接事業部門

専務取締役
※粕谷 強

常務執行役員
輿石 房樹

■アルミ・銅事業部門

専務取締役
※金子 明

常務執行役員
加藤 宏

常務執行役員
藤井 拓己

■機械事業部門

取締役副社長(代表取締役)
※榎木 一秀

常務執行役員
山口 貢

専務執行役員
大濱 敬織

常務執行役員
松田 彰雄

■エンジニアリング事業部門

取締役副社長(代表取締役)
※田中 順

常務執行役員
森崎 計人

常務執行役員
眞部 晶平

執行役員
石川 裕士

■社外取締役

取締役
北畑 隆生

取締役
越智 洋

監査役(常勤)
藤原 寛明

監査役(社外監査役)
佐々木 茂夫

監査役(社外監査役)
坂井 信也

監査役(常勤)
山本 敬藏

監査役(社外監査役)
沖本 隆史

会社の概要

(平成26年9月30日現在)

- 創 立 明治38年9月
- 資 本 金 2,509億3,003万3,900円
- 発行済株式総数 36億4,364万2,100株
- 株 主 数 222,564名
- 従 業 員 数 10,810名

事業所

神戸本社 〒651-8585 神戸市中央区脇浜海岸通二丁目2番4号
☎078(261)5111(大代表)

東京本社 〒141-8688 東京都品川区北品川五丁目9番12号
☎03(5739)6000(大代表)

支 社 大阪・名古屋

支 店 北海道(札幌市)・東北(仙台市)・新潟(新潟市)・
北陸(富山市)・四国(高松市)・中国(広島市)・
九州(福岡市)・沖縄(那覇市)

海 外 ニューヨーク・シンガポール・上海

(注)「海外」には現地法人を含めております。

研 究 所 神戸

製鉄所・工場 <鉄鋼>加古川・神戸・高砂
<溶接>藤沢・茨木・西条・福知山
<アルミ・銅>真岡・長府・大安
<機械、エンジニアリング>高砂・播磨

神戸製鋼グループ企業理念

当社グループは、下記の企業理念のもと、株主・投資家、顧客や取引先、従業員、地域社会など、あらゆるステークホルダーの皆様に対して、企業としての社会的責任を全うできるよう努力を続けることにより、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

1. 信頼される技術、製品、サービスを提供します
2. 社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます
3. たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します

インターネット ホームページ <http://www.kobelco.co.jp>

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
定時株主総会	6月	特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
基準日	定時株主総会 3月31日	同事務取扱場所	大阪府中央区伏見町三丁目6番3号
	剰余金の配当 期末 3月31日		三菱UFJ信託銀行株式会社
	中間 9月30日		大阪証券代行業
公告方法	電子公告(当社ホームページをご覧ください) http://www.kobelco.co.jp		

株式に関するご案内

当社の株式に関する住所・氏名等の変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求および相続などのご相談、お手続きは、以下のとおりです。

- ①証券会社にお預けの株式について
お預けの証券会社にお問い合わせください。
- ②証券会社にお預けでない株式について
三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

未受領配当金のお受け取りのお手続きについては、三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

〈郵便物および電話でのお問い合わせ先〉
〒541-8502 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行業

☎ 0120-094-777
(通話料無料:オペレーターがお伺いいたします。)
土・日、祝日を除く9:00～17:00

現在株券をお持ちの株主様や、以前株券をお持ちで現在株券の所在がわからなくなった株主様は、「特別口座」で管理されている可能性がありますので、三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。「特別口座」では単元株式の売買はできません。証券会社にお預けでない株式について、証券会社の口座に移管することをお奨めします。

※「特別口座」とは、平成21年1月の株券電子化の際に、証券会社に預けられていない株式を管理するために、当社が開設した口座のことです。

平成26年以降、上場株式等の配当等には、復興特別所得税を含め、20.315%（※）の源泉徴収税率が適用されております。

（※）所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%

※詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にお問い合わせください。